

学校教育目標

学ぶことを楽しむ子どもを育てる
認め合い高め合う集団をつくる

学校経営方針

- ①すべての学校教育活動は、子どもの「学び」と「育ち」を第一義にする。
- ②わかる授業と楽しい活動を実施することを通して、主体的・対話的な「学び」をつくる。
- ③子ども一人ひとりに居場所があり、自分の有用感を感じることができる学級・学年・学校をつくる。
- ④子どもだけでなく、学校に集うすべての人が高い人権意識を持つように働きかける。
- ⑤家庭や地域との信頼関係を大切にして、地域ぐるみの学校づくりを進める。

めざす子ども像

より良い自分を実現する自律した子
「おはよう」「なかよし」「やり抜く子」

確かな学力

■学ぶ意欲を持ち、進んで学習する子

- ・主体的に学習をする子
- ・問題を見つけ、協働しながら考えをつなぎ、解決する子
- ・自分で課題を設定し、家庭学習を進める子

豊かな心

■他者を思いやる心を持ち、人やものを大切にする子

- ・他者のよさを認め、人権を大切にする子
- ・他者の役に立つために自分から行動する子
- ・規範意識を持ち、規律を守る子
- ・自分のまちや京都を愛し、大切にする子

健やかな体

■自分の体を大切にする子

- ・基本的な生活習慣を身につけた子
- ・健康や安全に対する意識を高く持ち、正しく行動する子
- ・進んで運動に親しみ、楽しく活動する子

主体的・対話的な授業の実践
めあて・言語活動・振り返り

道徳教育の充実
「道徳」の時間を軸とした道徳教育

「いのち」の尊厳を伝える実践
自分で健康・安全を管理する教育

めざす学校像

■創造的な「学び」がある学校

- ・すべての教育活動に「学び」の意義がある学校
- ・すべての人が相互に「思いやり」の心でつながる学校
- ・一人ひとりの子どもを徹底的に大切にできる学校
- ・子どもの命を守り切る学校
- ・明るいあいさつや返事が響き合う学校
- ・保護者、地域の方々に信頼される学校

めざす教職員像

■子どもの規範となり進化する教職員

- ・初志を忘れず、自分の進化をめざし、研鑽を惜しまない教職員
- ・鋭い人権感覚を持ち、それをもって言動を行う教職員
- ・常にコンプライアンス意識の向上をめざし、子ども・保護者・地域・同僚から信頼される教職員
(就業規則、公務員倫理法遵守・ハラスメント行為の禁止・職場モラルおよびマナーの向上)
- ・心のこもった挨拶、丁寧な言葉づかいで明るく元気に対応する教職員
- ・地域や京都について学び、子どもに伝えられる教職員
- ・地域や外部組織との協働をもって、子どもを育む教職員

家庭・地域との連携

- ・学校運営協議会の充実
- ・安心安全の取組推進
- ・地域素材の教材化
- ・放課後まなび教室、児童館との協力連携
- ・保、幼、小、中連携
- ・家庭学習の習慣化